

# 国際技術標準 許諾コード方式について

(英語表記: Digital Rights Permission Code)

2008. 2.27

日本写真著作権協会 常務理事

経団連コンテンツポータルサイト運営協議会 主査

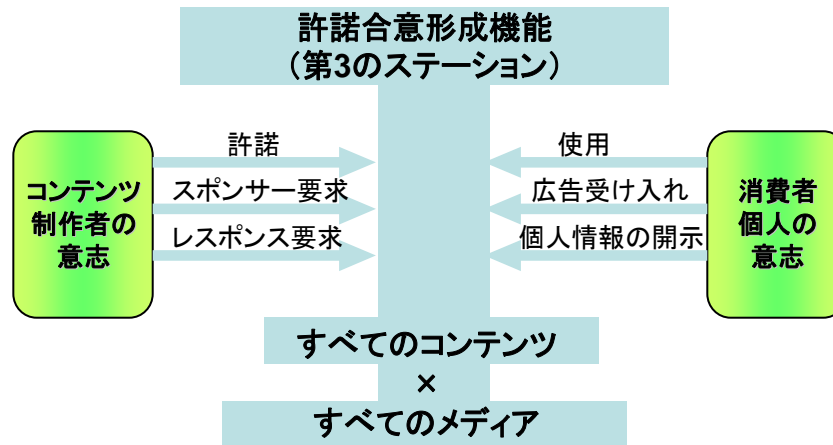
瀬尾太一

# 許諾コード方式の概略

■許諾コード方式とは、1997年～1998年にかけて電通で考案されたデジタル時代のコンテンツ流通に対応する権利許諾情報の管理手法の名称です。

■その内容は、様々なコンテンツの使用目的・条件など細分化される権利者からの複雑な許諾情報を、携帯電話・携帯端末、家庭内TV受信機・STB、PCなどの消費者が所有する機器が解読できるように要素を簡素化＝数値コード化しようという技術規格です。

許諾の概念図



# 許諾コード方式の標準化への経緯

■1997年～1998年 電通で考案

■主たる要素は1. コンテンツID 2. 事業者ID(権利者、利用者) 3. 許諾条件です。

■2001年4月、(株)メロディーズ&メモリーズグローバル(以下MMG)発足後、同社を通じて関係する国際・国内標準化活動に積極的に提案作業を行って参りました。

■2002年3月、MMGより「デジタル時代の著作権協議会(CCD)」に対して許諾コード方式の提案がなされました。その提案以前から検討を進めていた日本写真著作権協会では、文化庁が2003年10月に行なったバーチャル著作物マーケット実証実験を機に正式に許諾コード方式の採用を決め、今日まで著作権者ID、コンテンツIDの実運用を行なっています。

■2006年3月、CCDは3年間に渡る検討を経て、許諾コード方式の主たる要素の内の、共通コンテンツID、共通事業者IDをCCD IDモデルとして公表しました。

■2007年6月よりサービススタートした日本経団連のコンテンツポータルサイト「ジャパンコンテンツショーケース」においてはCCD IDモデルが共通コンテンツID、共通事業者IDとして採用されています。

■許諾コード方式は、謂わばデジタルコンテンツの荷札制度とも言うべき技術規格であり、この提案が2004年12月、電子情報技術産業協会(JEITA)を通じて日本からIEC 国際電子技術標準化会議に対して行なわれ、2年に渡る検討、今年15日の国際投票を経て、同会議の国際標準となりました。

# 許諾コード方式の構成要素

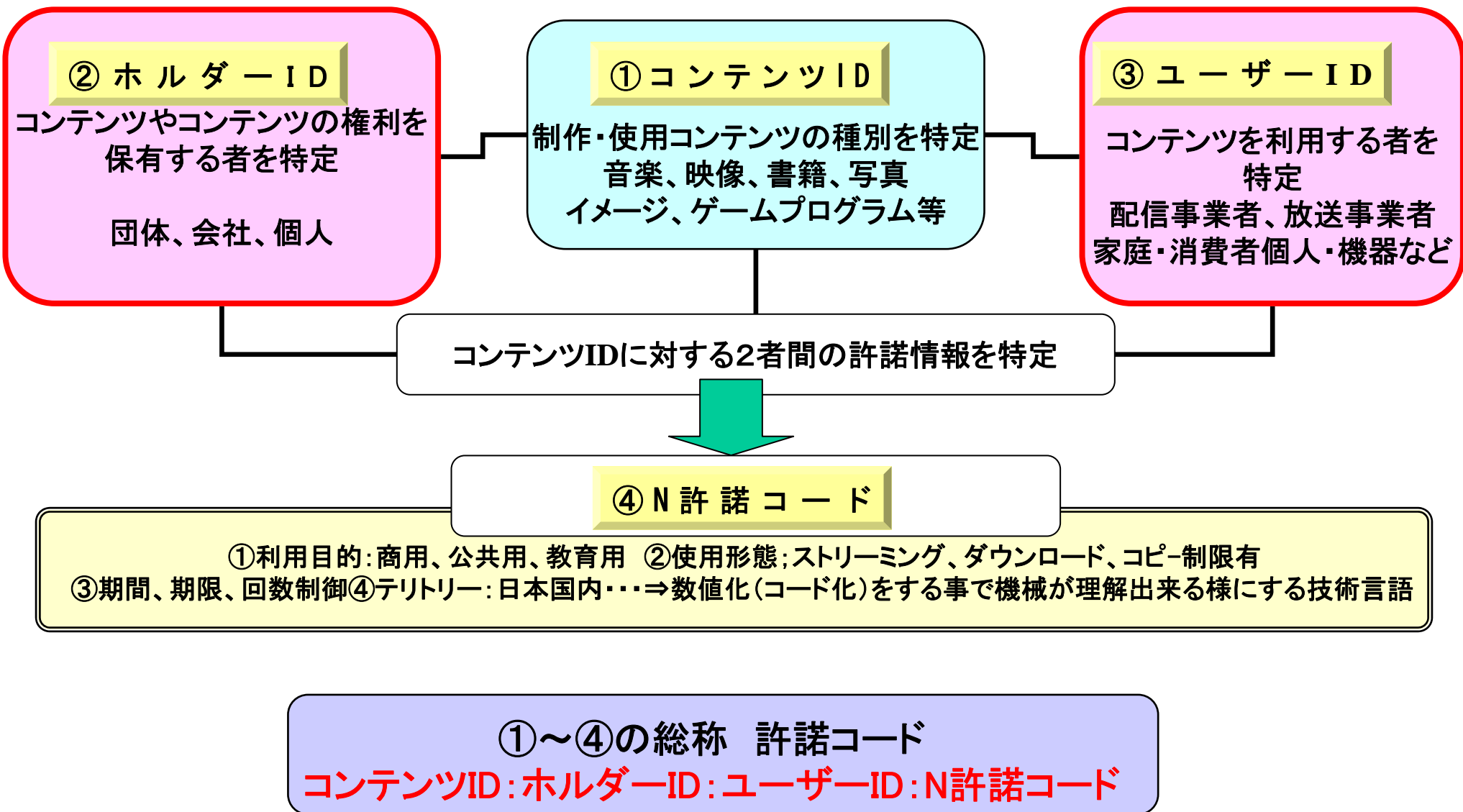
許諾コード方式の構成4要素は以下の通りです。

～どのコンテンツを、誰から誰に、どんな条件で～

- ① コンテンツID(コンテンツを特定)
- ② From ID(権利者・許諾管理者を特定)
- ③ To ID(配信事業者、消費者、機器を特定)
- ④ N許諾コード(具体的な細かな利用許諾条件を表現)

これら4つの要素(ID, コード)をコンテンツ流通時、コンテンツそのもの(ファイルやなどのデジタルデータ)と同梱することにより、コンテンツの娯楽消費時にコンテンツ使用者に正しく消費させ、正しく消費実績をコンテンツ所有者・権利者に利用報告させることが実現できます。また、関係する権利団体群も共通利用する事により、正確、透明性を担保した権利分配業務が可能となります。

# 許諾コード方式の4要素～デジタルコンテンツ流通時代の荷札のルール～



# ①コンテンツID、②FromID、③ToIDの概要

## 1. コンテンツIDの整理

- ー1 大分類整理 コンテンツ種別の大識別 T(テキスト)、S(音声)、I(イメージ・静止画)、V(映像)、P(プログラム)  
中分類整理 各業界、音楽業界、出版業界、映画業界、放送業界、アニメ業界、ゲーム業界、広告業界etc.で  
コンテンツ識別ヘッダー(2桁)のルール、コンセンサスの形成が必須となります。  
写真・美術・グラフィックの例 IP、  
音楽業界の例 SM、VM、  
映像業界の例 VD、VF  
広告業界の例 SA、VA、IA
- ー2 国内、海外の整理 コンテンツの生産地の識別  
将来に向けた国コード(WIPO)の活用

## 2. FromID、ToID=ホルダー、ユーザーの整理

- ー1 大分類整理 ホルダー、ユーザーの大別  
H (Holder) U(User (D(Distributor)も含む)
- ー2 国内、海外の整理  
将来に向けた国コード(WIPO)の活用
- ー3 団体、法人、個人の整理  
団体 Organization  
法人 Company  
個人 Individual
- ー4 許諾情報管理者とコンテンツ情報管理者(提供者)、権利情報管理者の整理  
総合許諾⇐複数の権利クリアランスから成り立つ  
本当に安心して使っていいです⇐この権利はOKです×n  
交渉窓口が一つか複数か → 総合許諾管理窓口 HJPO～、HJPC～、HJPI～

## ④N許諾コードの概要

1. N(Narrow)許諾コードの整理 N許諾コードは、区分と限定要素から構成され、契約、許諾条件を柔軟に記述する事が可能です。

### －1 区分(必須)

<公開区分>

<オープン許諾>      <クローズド許諾>

<目的区分>

<商用許諾>   <公共許諾>   <教育許諾>

<課金区分>      有      無

<スポンサー区分>   有      無

<使用区分>

<占有許諾>

<放送許諾>

<ストリーミング許諾>

<フィジカルレンタル>

<所有許諾> 寿命限定要素、記録媒体限定他、各要素と併記

記録媒体限定要素 無(=自由)      有

<ダウンロード許諾>

寿命限定要素 無(=自由)      有

再生回数

再生期限

再生期間

<2次使用許諾>

<ムーブ>

寿命限定要素 記録媒体限定要素

<コピー>

1 寿命限定要素 記録媒体限定要素

2 ~

<テリトリー区分>

日本 中国 韓国...

### －2 限定要素(任意)

<記録媒体限定要素>

無(=自由)

有

CD

MD

HDD(PC、STB、モバイル含む)

DVD

SDカード

メモリースティック

<品質・圧縮形式指定>

<ビットレート限定要素>

<寿命(ライフコントロール)限定要素>

無(=自由)

有

回数制限

期間制限

期限制限

<セキュリティ限定要素>

<電子透かし>   <DRM師弟>   <暗号方式>

<伝送経路限定要素>

無(=自由)

有 地上波 CATV インターネット Wireless

<最終捕獲場所限定要素>

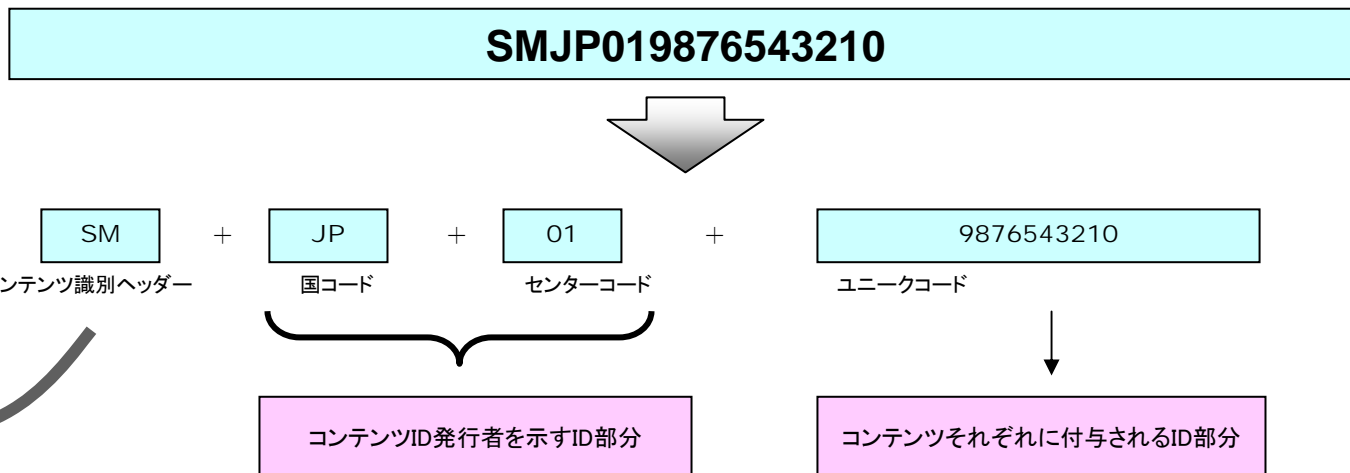
無(=自由)

有 Shop Home PC Mobile

# コンテンツ IDの構造

- コンテンツを一意に特定するためのコンテンツID体系は、デジタルコンテンツの属性を示すヘッダーを付与し、ID発行者が責任を持ってコンテンツ毎にユニークな値を発行します。

## コンテンツID体系



第一分類	第二分類	
音 (Sound)	音楽	SM (Sound Music)
	ドラマ	SD (Sound Drama)
	番組	SP (Sound Program)
	:	:
映像 (Visual)	音楽	VM (Visual Music)
	ドラマ	VD (Visual Drama)
	番組	VP (Visual Program)
	:	:

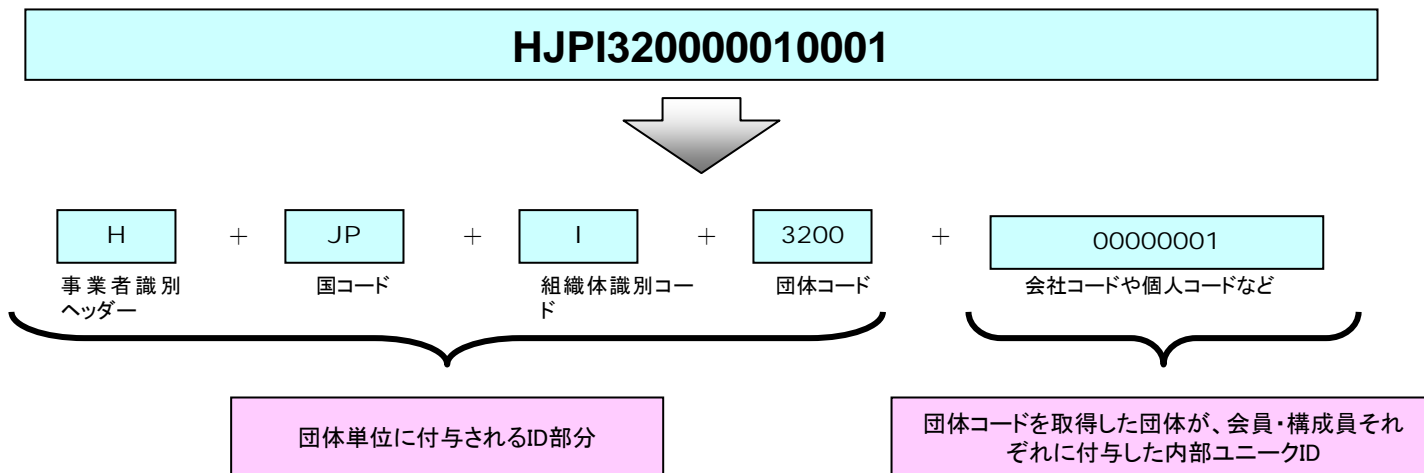
- IDから、コンテンツ属性が把握できます。
- 事業者横断的に、IDでコンテンツを一意に特定できます。
- コンテンツ・ポータルによるソリューション機能を利用することにより、コンテンツIDからコンテンツホルダーを特定できます。



# FromID,ToIDの構造

- 事業者を一意に特定するためのFromID,ToID体系は、デジタルコンテンツの流通に関わる関係者を、コンテンツホルダーとコンテンツユーザーに分類し、これらの関係者及び所属する団体、会社、個人を一意に特定できるIDを付番します。

## 共通事業者ID体系



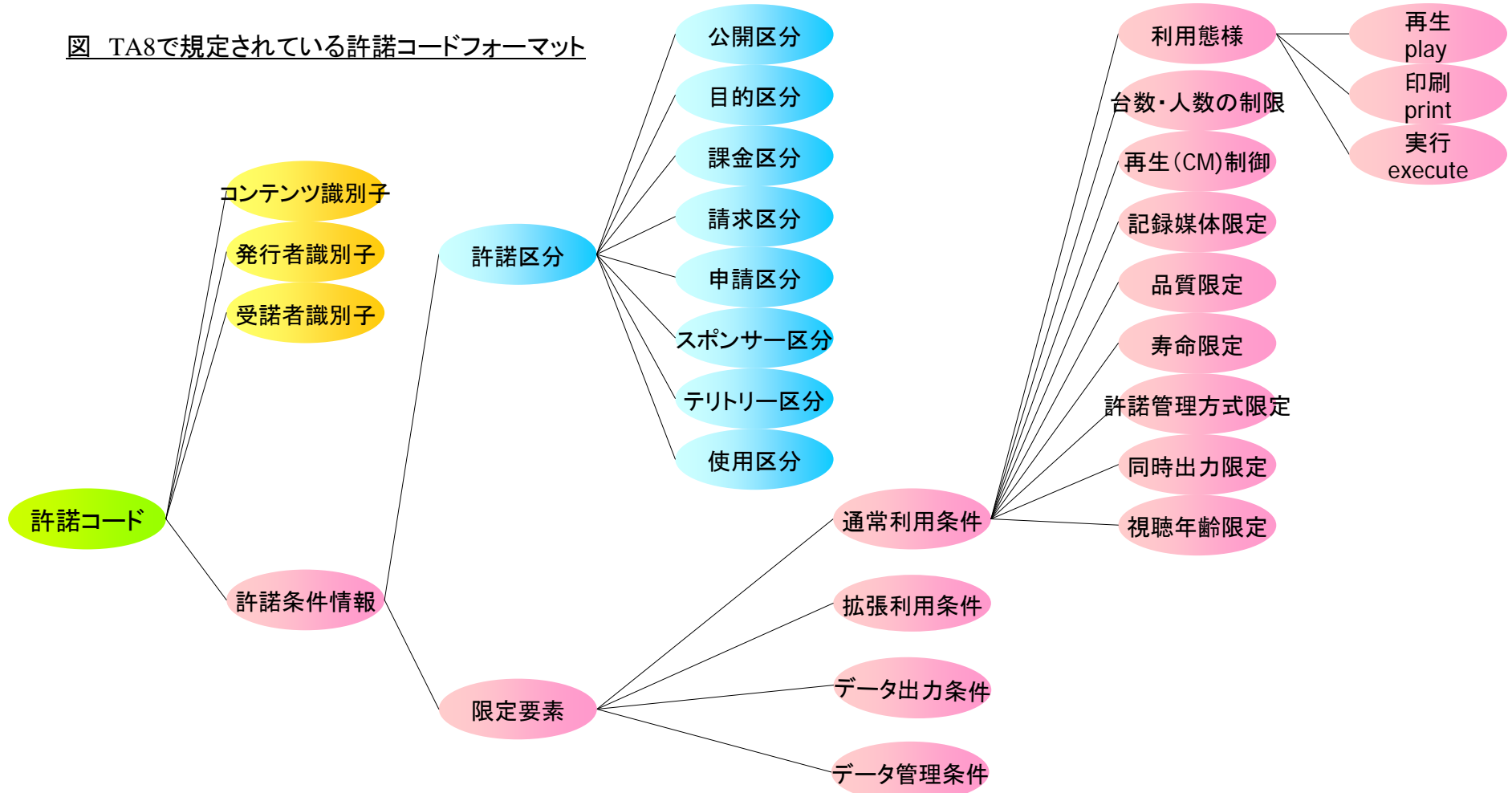
事業識別コード	コンテンツ所有者	Contents Holder	H
	コンテンツ使用者	Contents User	U
組織体識別コード	団体	Organization	O
	企業	Company	C
	個人	Individual	I

- IDから、事業者の属性が把握できます。
- 団体だけでなく、構成法人会員や個人会員など、コンテンツ流通に関わるさまざまなプレイヤーを特定できます。

# IEC許諾コードフォーマット

■ JEITA TC100/TA8においてはホームサーバー環境に適用した許諾コードフォーマットを国際標準としてIEC TC100/TA8に提案しました。TA8で規定された許諾コードはホームサーバー環境でコンテンツの権利保護を行う様々な権利保護技術への共通権利表現として用いられることを前提にして標準化が進められました。

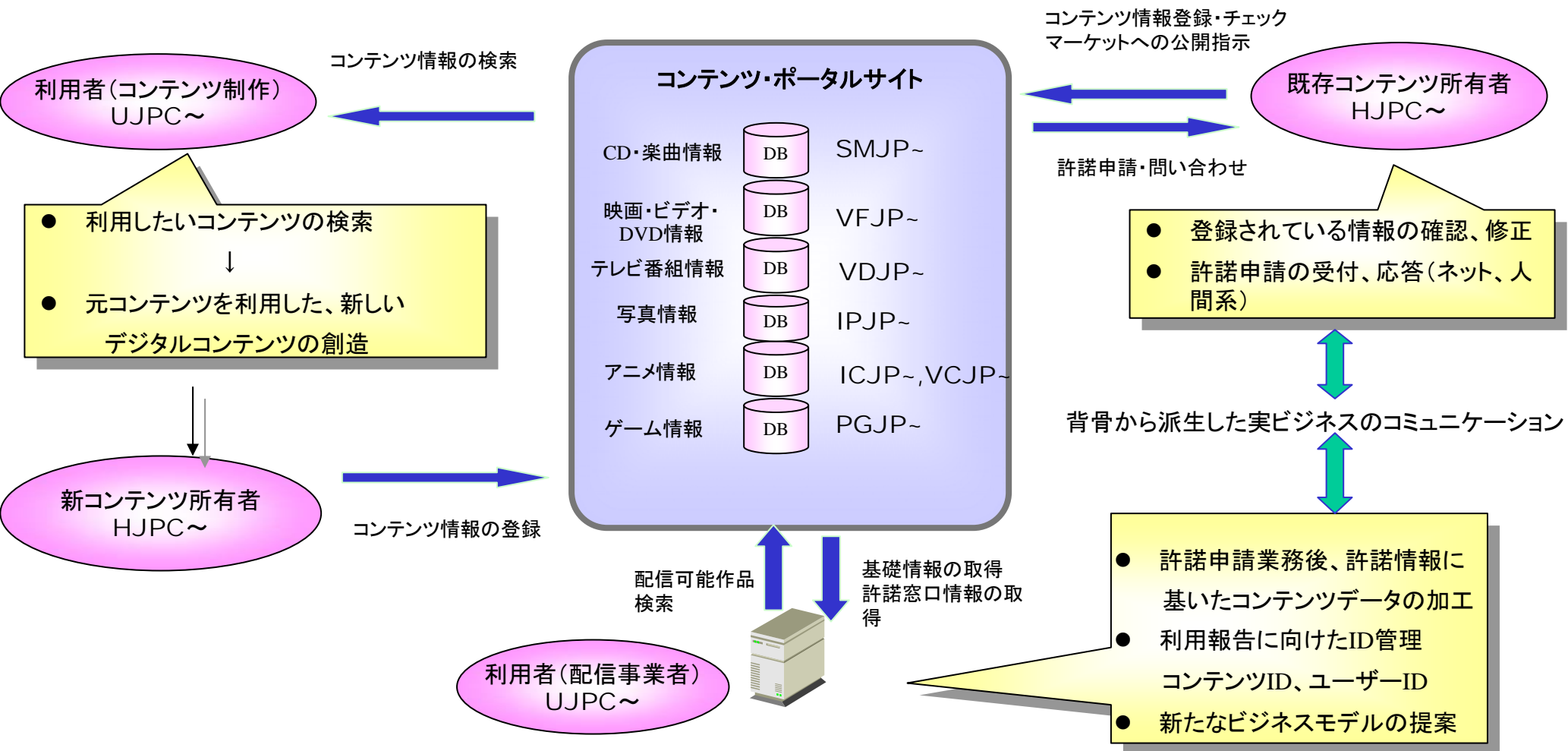
図 TA8で規定されている許諾コードフォーマット



# 参考資料1. コンテンツ・ポータルサイトとCCDIDの連携図

(経団連資料より抜粋)

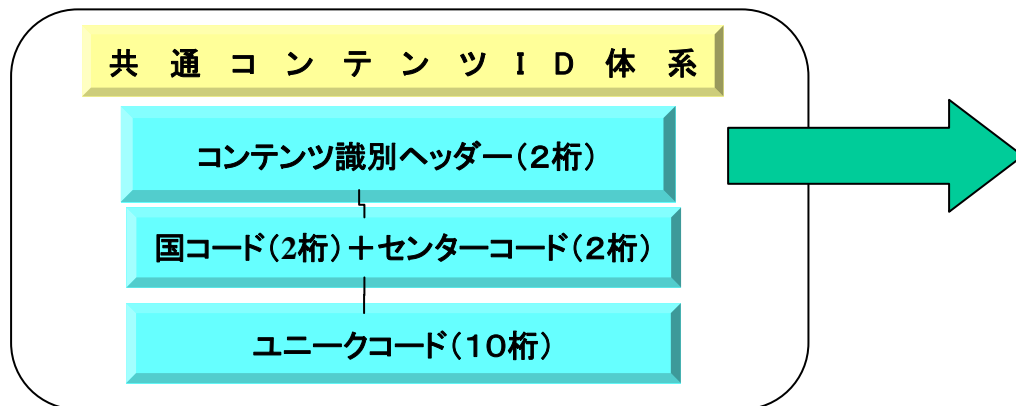
- 様々な種類のコンテンツ情報の基礎部分と、その許諾窓口情報が、デジタルコンテンツ流通の背骨として存在する
- この背骨を通じて、コンテンツ所有者、利用者間の新たなコミュニケーションが生まれ、新しいコンテンツの創造や新しいマーケットの創造を図ることが可能となる
- CCDIDは、背骨にまつわる情報を簡易に管理する事を可能にするID体系(誰の、どのコンテンツ、誰が使った、若しくは使いたがっている、どのコンテンツ)



## 参考資料2: CCD IDモデル 団体間識別番号 マップー2 (CCD資料より抜粋)

ジャンル		団体間識別番号	団体	
<ジャンル3> 美術・静止画	美術	3101	(社)日本美術家連盟	美連
	写真	3200	※ (有中)日本写真著作権協会	JPCA
		3201	(社)日本写真家協会	JPS
		3202	(社)広告写真家協会	APA
3203		(社)日本写真文化協会	文協	
3204		全日本写真連盟	全日写連	
3205		日本肖像写真家協会	日肖写	
3206		日本写真作家協会	JPA	
3207		(社)日本婚礼写真協会	婚写協	
3208		日本スポーツプレス協会		
3209		日本自然科学写真協会		
3210	日本風景写真協会			
グラフィック	3300	※ 日本美術著作権連合		
	3301	(社)日本グラフィックデザイナー協会	JAGDA	
	3302	日本理科美術協会	理科美	
	3303	日本出版美術家協会	JPAL	
	3304	日本図書設計家協会	図書設計	
	3305	東京イラストレーターズソサエティ	TIS	
	3306	日本児童出版美術家連盟	童美連	
漫画	3401	(社)日本漫画家協会		

# 参考資料3: CCD IDモデル 共通コンテンツIDの構造 (CCD資料より抜粋)



## <コンテンツ識別ヘッダー コード体系>

第一分類	第二分類	
音 (Sound)	音楽	SM (Sound Music)
	ドラマ	SD (Sound Drama)
	番組	SP (Sound Program)
	情報	SN (Sound News)
	広告	SA (Sound Ad)
	その他	SO (Sound Object)
映像 (Visual)	音楽	VM (Visual Music)
	ドラマ	VD (Visual Drama)
	番組	VP (Visual Program)
	映画	VF (Visual Film)
	漫画 (アニメ)	VC (Visual Comic)
	情報	VN (Visual News)
	広告	VA (Visual Ad)
	その他	VO (Visual Object)
書籍 (Text)	原作	TP (Text Program)
	ドラマ (小説・シナリオ)	TD (Text Drama)
	音楽 (= 歌詞)	TM (Text Music)
	論文	TT (Text Thesis)
	情報	TN (Text News)
	その他	TO (Text Object)
イメージ (Image)	写真	IP (Image Program)
	イラスト・絵画	II (Image Illustration)
	漫画	IC (Image Comic)
	音楽 (= 楽譜)	IM (Image Music)
	広告	IA (Image Ad)
	その他	IO (Image Object)
プログラム (Program)	ゲーム	PG (Program Game)
	ソフトウェア	PS (Program Soft)
	音楽 (= MIDIデータ)	PM (Program Music)
	広告	PA (Program Ad)
	その他	PO (Program Object)

